図書館だより

第５号

２０１９年　１０月号

新本もたくさん入りました！

時間にゆとりがあるこの時期に、ぜひ、図書館をのぞいてみてください。

その中の３冊を紹介します！

NEW

『日本のヤバい女の子』　はらだ有彩

幼い頃、昔話に出てくる彼女たちがかっこよくて、おもしろくて、大好きだった。
やっと会えたね。うれしいね。わたしたち、積年の呪いを解き合って、どんどん自由になっていこうね。———松田青子　　昔話の新感覚エッセイ。

NEW

『負けてみろ。』　田口元義

前人未踏の１２連覇と甲子園———清く、壮絶なる舞台裏

NEW

「高校サッカー心を揺さぶる 11 の物語」

監修　安藤隆人

サッカーとひたむきに向き合う中で生まれる人と人の絆に心を動かされました！
ＴＢＳ初代「Ｓ☆１」ガール　小島瑠璃子さん、感動！

毎年、10 月 27 日～11 月 9 日（文化の日を中心にした２週間）は、秋の読書週間です。今年の標語が発表されました。

『　おかえり、栞の場所で待ってるよ　』

今年も、図書委員のみなさんに読書週間のポスター作成をお願いします。毎年、オリジナルの素晴らしい作品を描いてきてくれます。図書館や廊下に掲示するので、乞うご期待！！

中間考査が終了したら、時間に少し余裕ができるのではないでしょうか？その時間を利用して読書をしませんか？何を読めばいいか、わからない人やお勧めの本を教えてほしいという人には・・・

悩んでいる人に読んでほしい３冊！

『西の魔女が死んだ』 梨木香歩/新潮文庫

中学校へ通えなくなったまいは、祖母から１ヶ月間魔女の手ほどきを受けることに。魔女修行で求められたのは、何でも自分で決めること。祖母と厳しくも穏やかな日々に、予想外の結末。悩みのある人はぜひ読んでみてください。

『非属の才能』 山田玲司/光文社新書

周りから浮いているあなたにあるのは非属の才能。みんな同じが求められる今、自分だけの生き方を奨励するエッセイ。第一線で活躍する著名人の経験を読むうちに、勇気が湧いてきます。読みやすくておすすめです。

『絵を描くことに恋をして』河野ルル/桜山社

名古屋市在住の絵描き・河野ルルが絵を仕事にする！と決断するきっかけになった海外旅行をつづります。長い旅の中で出会いや経験、喜びや不安。ストレートな文章が、ふさいだ気分や心のモヤモヤに明るい光と色をもたらします。